

都市景観としての「街」と商店街の未来 一 界隈の街並み魅力と融合した商店街の可能性一

○日時：2023年10月3日（火）午後3時～午後5時（入場無料）ハイブリッド開催 Zoom 併用
（その後、福島界隈のまち歩き、交流会）

○場所：聖天通劇場（大阪市福島区福島7-7-12）<https://shoutendori-theater.com/guide>

○主催：一般財団法人大阪地域振興調査会

○後援（予定）：大阪商工会議所

ショッピングタウン研究会は弊財団発足以来の歴史ある研究会であり、「都市の中の商店街」というテーマは約40年間取組んできた。当時の商店街は今どうなっているか？全国の駅前シャッター商店街化が加速するなか、大阪では街並みや界隈性のある「街」が人気スポットとして生き延びている。商店街とその裏通りを含めた飲食店や製造小売り店舗の集積が生活感を含めて「下町生活商店街」とでも呼べる観光コンテンツとして脚光を浴びている。これは全国的にも散見される事態であり、今後の商店街の行方を示唆しているかも知れない。

本セミナーでは「街」の景観資源や生活感の魅力と融合した商店街の可能性を都市計画、商業の両面から語りながら、今後の商店街活性化に資する事を願って開催する。

○プログラム（案）

1. 開会挨拶 石原武政（研究会主査 財団会長）
2. 導入スピーチ（問題提起） 商店街は「下町生活観光」で生き残るか
吉野国夫（ダン計画研究所会長 財団常務理事）
3. ケーススタディ
CASE ① Zoom 歴史文化と路地を活かした商業エリアの活性化
～都心型下町神楽坂の路地の魅力を活かした活動～
山下馨（粋なまちづくり倶楽部理事長 建築家）
CASE ② 福島界隈の魅力と聖天通り商店街の昔と今
堤 成光（ショッピングタウン研究会幹事）
CASE ③ がもよんにぎわいプロジェクトの新展開（城東区）
田中創大（R PLAY株式会社）
4. パネルディスカッション ※パネラー：上記スピーカーほか
モデレータ 藤岡 里圭（関西大学教授 ショッピングタウン研究会幹事）
コメンテータ（予定）：ST研メンバー、全国路地のまち連絡協議会、NPO まちづくり協会、JUDI 関西、NPO 日本都市計画家協会、大阪商工会議所 大阪市他

【申込み】 FAX または E-mail にて、9月29日（金）までにお申し込みください

現地参加 Zoom 参加（Zoomの方にはURLをMailでお送りします）

ご所属 _____ お名前(代表者) _____

ご住所 _____ お名前(同行者) _____

メールアドレス(必須) _____

【申込先】一般財団法人大阪地域振興調査会 白庄司 E-mail:info@daichishin.org / TEL・Fax:06-6777-5184